

# Society5.0を実現する 「最先端の国際研究拠点」について

平成29年4月28日

文部科学省

# Society5.0を実現する「最先端の国際研究拠点」について

## 【現状認識】

- 大変革の時代において、我が国が将来にわたり競争力を維持・強化していくためには、未来の産業創造と社会の変革に先見性を持って戦略的に取り組むことが不可欠
- 大学及び国立研究開発法人が自ら大変革を主導し、非連続なイノベーションを生み出す取り組みを進め、Society5.0を推進



## 【コンセプト】

- Society5.0の実現に向け、今後起こり得る社会構造や産業構造の変革（資本集約型→知識集約型）に適切に対応するため、大学及び国立研究開発法人が中核となって、産業界や他機関との組織の壁を越えた知識の集約を図る最先端の国際研究拠点の形成が必要。
- 「**AI/IoT/ビッグデータ**」と「我が国が強い国際競争力を有する分野や喫緊に解決すべき大きな社会的課題を有する分野」の基礎研究とを融合させたSociety5.0を支える世界トップレベルの研究開発を推進。
- 明確な研究開発ターゲットの設定および強力なトップマネジメントにより、産業界からの投資を喚起。

## 【鍵となる取組】

### 基礎研究の核の形成

- 世界トップレベルの基礎研究の集積
- 国際的に優れた研究者の集積
- 拠点形成を推進するための情報インフラの強化等の環境整備

### 産業構造改革に対応する大学・国立研究開発法人のマネジメントの強化

- 学長・理事長のリーダーシップの下、国際戦略拠点の目標達成を可能にする  
マネジメント体制  
→機関全体としての拠点をデザイン
- 機動力とスピード感を持った、産業界との本格的な大型共同研究の推進体制を構築

### 産業界との本格的な連携の促進

- 産業界のコミットメント
- 大学の産学連携の取組を比較評価できるデータを整備

# これまでに形成された拠点の例 (H28年度時点)

